

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 講師	氏名 吉田 雅子	大学院における研究指導担当資格の有無 無			
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）						
2 作成した教科書、教材、参考書						
中学生の道徳（あかつき教育図書）1～3年		令和7年度発行版				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書（単著）						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書（共著・分担執筆）						
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	小学校教員養成課程における「聴取力」に着目した英語科と音楽科との連携—「英語の歌」を用いて—（事例報告）	共 吉田雅子・石塚真子	大阪体育大学教育学研究	第7巻	79頁～98頁	令和5年3月
実践報告	英語で伝える「必然性」に着目した大学英語授業 学生にとっての身近なテーマと主体的な学び（実践論文）	単 吉田雅子	大阪体育大学教育学研究	第8巻	21頁～46頁	令和6年3月
実践報告	小学校教員養成課程における「聴取力」に着目した英語科と音楽科との連携（2）—教科横断的学習プログラムについて—（事例報告）	共 吉田雅子・石塚真子	大阪体育大学教育学研究	第8巻	71頁～83頁	令和6年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(一般演題)	令和3年9月	和文化教育学会(第18回和文化教育全国大会八王子大会)	中学校英語における日本の伝統文化についてー教科書で使用されているテーマと語彙の使われ方を基にー	帝京大学 八王子キャンパス (オンライン開催)	吉田雅子	
国内(一般演題)	令和4年6月	日本道徳性発達実践学会第21回武庫川女子大会 第38回道徳性発達研究会	大学生の印象から見た道徳授業のイメージと課題	武庫川女子大学 (オンライン開催)	吉田雅子	
国内(一般演題)	令和6年2月	和文化教育学会(第20回和文化教育全国大会オンライン九州大会)	英語教育における日本文化発信の取り組みー大阪体育大学教育学部の一実践ー	オンライン開催	吉田雅子	
研究会	令和6年4月	Osaka JALT's 14th annual spring conference on language teaching "Back to School 2024"	'Necessity' in University English Classes: Japanese Lifestyle and Culture as Student-centered Topics	大阪女学院大学	Miyako Yoshida	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
科学研究費	基盤研究 (C)	「価値認識・自己認識・自己展望」に基づく道徳授業力の改善効果に関する実践的研究	分担	令和3年～令和6年	4,030,000	
選択			選択			
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
III 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
令和元年5月～	関西英語教育学会					
令和元年6月～	JALT(全国語学教師学会)					
令和2年6月～	和文化教育学会					
令和4年5月～	日本道徳性発達実践学会					
社会的活動						
令和4年4月～	中学校道徳科教科書（あかつき教育図書）編集委員					
IV 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
令和元年4月～令和3年3月	教育学部教務委員会					
令和元年4月～令和3年4月, 令和7年4月～	図書館委員会					
令和3年4月～	学生委員会					
令和3年5月～	学生懲戒諮問委員会					
令和3年4月～令和7年2月	教育学部FD委員会					
令和3年4月～令和7年3月	国際交流センター委員会					
特別プロジェクト活動						

V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	部		2. 役職	3. 部員数 人	
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数 :		回	延べ日数 :	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択 ① 積極的に取組んでいる ② ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④ 全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択 ① 積極的に取組んでいる ② ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④ 全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	選択 ① 積極的に取組んでいる ② ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④ 全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大 会 名			期 間	場 所
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開 催 期 間	大 会 名			成 績	場 所
VI 賞罰（職務に関する賞罰）					
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考